

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	カラフル佐竹台			
○保護者評価実施期間	令和6年 4月 1日		～	令和7年 3月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	23	(回答者数)	21
○従業者評価実施期間	令和6年 4月 1日		～	令和7年 3月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数)	5
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 4月 15日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	適切な支援の提供	限られた時間で子供たちの出来る事を増やせるよう、限られた時間・人員で個々の職員が目的に沿った内容を考え提案し共有を行い丁寧に支援するようにしている。	研修等に積極的に参加はしているが反映できるよう掘り下げるよう努める。
2	活動プログラムの工夫	各職員がそれぞれに情報を取り入れ児童が積極的に参加できるような内容を立案し内容を更新している	児童がの通所期間が永く数年に渡る事が多いので成長と共に興味も変わりそこに合わせて行けるよう考慮する
3	関係機関や保護者との連携	少しの変化も保護者とは共有するようにし、必要があれば学校や相談支援員等とも相談するようにしている。	継続して連携していく

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	家族支援プログラム（ペアレントトレーニング）	家族等に対しご家族が事業所外で参加できるプログラムの情報提供は行っているが、事業所内で家族支援プログラム・トレーニングとなると内容を精査する時間、又実際に行う時間の確保が非常に難しい。	どの程度ご家族が必要としているか、その調査と内容と実際に行えるか検討する。
2	父母の会の活動	父母の会を開いて欲しい等の声が上がれば行うようにしているが、実際に集まるのは極少数であったり児童の年齢層もバラバラで議題も難しいところがあった。又児童を受け入れた状態での父母の会は現実的には難しく、時間の確保も課題である。	定期的に父母の会を開きたいかリサーチが必要
3	放課後児童クラブや地域の子どもとの交流	こちらも求めている保護者や児童は現在おらず、むしろ放課後等児童クラブや地域の子どもと交流するのが困難なため事業所を利用している児童が多い。どのように交流して目的をどこにおくのか分からない。	必要かリサーチが必要